



教授（名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻）公募のお知らせ

本専攻では、下記の要領により教授を公募いたします。

記

1. 職種・人員：

名古屋大学大学院環境学研究科
地球環境科学専攻地球環境変動論講座
教授・1名

2. 応募資格：

- (1) 大気・水圏にかかわる地球環境変動の研究を行い、この分野に関連する国内外の研究プロジェクトを推進した実績があること。
- (2) 地球環境科学の広い分野に見識を持ち、当研究科で推進するプロジェクトに参加できること。
- (3) 大学院教育に熱意を持ち、地球環境変動関連の授業を担当できること。

3. 着任希望時期：2006年4月1日

4. 応募書類：

- (1) 履歴書
- (2) これまでの研究と推進した研究プロジェクトの概要
- (3) 今後の教育・研究の計画と抱負
- (4) 研究業績リスト（和文のものは和文で表記すること）

こと）

- A. 査読のある原著論文
 - B. 総説、解説、報告（査読の有無を記すこと）
 - C. 著書
 - D. 国内外の学会活動、受賞歴、招待講演、社会との連携、その他特記事項
- (5) 主な論文の別刷り3編程度（複写可）
(6) 応募者に関する所見をうかがえる方2名の氏名と連絡先

5. 応募締切：2005年12月5日（必着）

封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留にて郵送すること。

6. 書類の送付先及び問い合わせ先：

甲斐 憲次
地球環境変動論講座教授選考委員会委員長
名古屋大学大学院環境学研究科
〒464-8601名古屋市中千種区不老町
Tel：052-789-4257, Fax：052-789-4257
E-mail：kai@info.human.nagoya-u.ac.jp

7. その他

当研究科の概要についてはホームページ
<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/>
をご覧下さい。

編集後記：気象学会のみなさんは、気象庁が発表する天気予報がはずれてしまった時、どのような感想をお持ちになりますか？

「気象現象はカオスだからある程度はしょうがないよなあ。」でしょうか？「気象庁情けないぞ！俺のモデルの方が当たるぞ」でしょうか？それとも、やはり「この税金ドロボー！」でしょうか…。

気象庁では、2002年より気象等の情報をインターネットのホームページで提供していますが、このホームページを通じて、国民の皆様からさまざまなご意見、苦情が寄せられています。私の所属する予報部では、部の業務に関連するご意見を庁内ネットワーク上の掲示板に掲載し、情報共有を図っています。やはり、天気予報が大幅にはずれてしまったときや、台風進路予